

令和4年度 第1回学長選考・監察会議議事要録

日時 令和4年7月11日(月) 13:30～15:05
場所 事務局1号館2階会議室 ※ ビデオ会議システムを併用
出席者 <委員> 井戸議長, 石田委員, 和泉委員, 河村委員, 若林委員, 廣田委員,
竹内委員, 弓山委員
<委員以外> 湊屋理事・副学長・事務局長, 小倉監事, 三矢監事,
佐藤総括理事・副学長

資料

1. 令和3年度業務執行状況報告について
- 2-1. 新たに学長を選考するプロセスと公表(現行)
- 2-2. 学長選考・監察会議開催日程(令和4年7月11日現在の案)
- 2-3. 令和4年度学長選考・監察会議開催予定(案)

参考資料

1. 国立大学法人東京工業大学学長選考・監察会議規則
2. 国立大学法人東京工業大学学長候補者の選考及び学長解任の申出に関する規則
3. ヒアリングタイムスケジュール(目安)

○ 定足数の確認

委員10名, 定足数7名に対して出席者8名で成立。

○ 審議事項

1. 議長の選出について

湊屋理事・副学長・事務局長から, 議長の選出については, 学長選考・監察会議規則(参考資料1)第6条第1項の規定に基づき委員の互選によることとされている旨説明があり, 互選の結果, 井戸委員を議長に選出した。

議長から, 同規則第6条第3項に基づく「あらかじめ議長が定めた者」(いわゆる議長代行)を選出する必要があることの説明があり, 議長が石田委員を指名し了承された。

引き続き, 議長から, 議論の過程で大学の状況等の説明が必要となった場合等において, 議長の指名により説明を求めることができるよう, 佐藤総括理事・副学長に毎回陪席願いたい旨の説明があり, 了承された。

2. 学長の業務執行状況の確認について

議長から, 学長候補者の選考及び学長解任の申出に関する規則(参考資料2)第

11条により、「学長選考・監察会議は、監事と連携しながら学長の業務執行状況について毎年度確認する」と規定されており、本会議において学長からの説明聴取・質疑応答を行う旨の説明があった。

その後、益学長が入室し、資料1に基づき、令和3年度業務執行状況について説明があった後、各委員と質疑応答が行われた。

(委員からの質問・意見)

- ・指定国立大学法人構想に向けて、アウトカム5つのチャレンジングは素晴らしいと思うが、一つ一つのプロジェクトが勝手に動いているのではないかという印象が若干ある。これだけのものを動かすとなると恒常的に今後見ていくユニットが必要ではないか。
- ・留学生ビジネスを行うのか行わないのか。そして適切に行うにはどうすれば良いと考えているか。
- ・学勢調査などがあるかと思うが、受益者である学生の満足度についてはどのように考えているか。
- ・コロナの影響により、学生にとって学生同士のふれあい、コミュニケーション、友達作りといった大学の雰囲気を感じる機会が極めて限定された学生生活であったのではないかと思う。学生が社会に出たり、研究をしていく上での人間力、コミュニケーション能力を落とさないために、さらに言えば東工大というものに対する愛着心というものがこれからも醸成されていくために、大学として何ができると考えているか。
- ・田町キャンパスの土地活用について、賃貸料として2026年から毎年45億円ということで見込まれているが、これは固定値なのか、それとも市況やテナント料によって変動する値なのか。
- ・理工系大学ということもあり、女子学生を増やすのは難しく、大学として大胆な改革をしない限りは突破できないと思うが、その辺についてはどう考えているか。
- ・間接経費の比率を上げて、今よりもより良いサービスを提供していくべきではないか。

(小倉監事)

- ・全体として、果敢に色々なことに挑戦しているとともに、活発に活動されていて、着実に成果を上げていると評価する。コロナ対応では、ハイブリッド授業の設備が整っており、オンラインから対面出席のために移動する時間を考慮し休憩時間を増やす等、学生への配慮が行なわれていた。国に対する業務では、第4期中期目標・中期計画を作った。また、大学の中では、アクションパッケージを作って、中期目標・中期計画に入らないものを含め教職員一体となって活動するような目標を掲げた。大学債の発行においては、準備がきちんと進んでいて、そのお金をどうやって返していくかというところまで踏み込んで検討し、長い期間の資金計

画をしっかりと作っている。また、統合報告書を作って、様々な対象者向けの説明会を開き、企業訪問にも活用しているのは非常に良い。ベンチャーについては昨年、ベンチャー元年と位置付けて、イノベーションデザイン機構を立ち上げ実績を作った。

(三矢監事)

- ・小倉監事とほぼ同意見。付け加えるとしたら、国の制約が厳しい中、人事の給与体系を見直したり、マネジメント職の器を作った。その運用の仕方はこれから気になるところではあるが、そういったことに着手したのは評価している。

以上、益学長に対する説明聴取・質疑応答の結果、益学長がリーダーシップを発揮し、大学運営が順調に進んでいることを確認した。

業務執行状況の確認結果については、議長から、益学長に報告することとした。

また、議長から、資料1及び本会議において業務執行状況を確認したことを記載した議事要録を学内外に公表する旨の説明があった。

○ その他

1. 令和4年度学長選考・監察会議の開催スケジュールについて

湊屋理事・副学長・事務局長から、資料2-1及び資料2-2に基づき、今後の学長選考・監察会議の開催スケジュールについて説明があった。

引き続き、議長から、資料2-3に基づき、令和4年度については、基本的に、経営協議会の日に開催する旨の説明があり、了承された。

2. 次回開催について

湊屋理事・副学長・事務局長から、次回（第2回）は9月29日（木）9時30分から対面及びビデオ会議システムを併用して開催する旨の案内があった。

補足）第2回は11月28日（月）13時30分から開催することに変更された。

以 上